

令和 7 年度 堺市高齢者等実態調査（結果概要）

1 調査の目的

高齢者の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査の概要

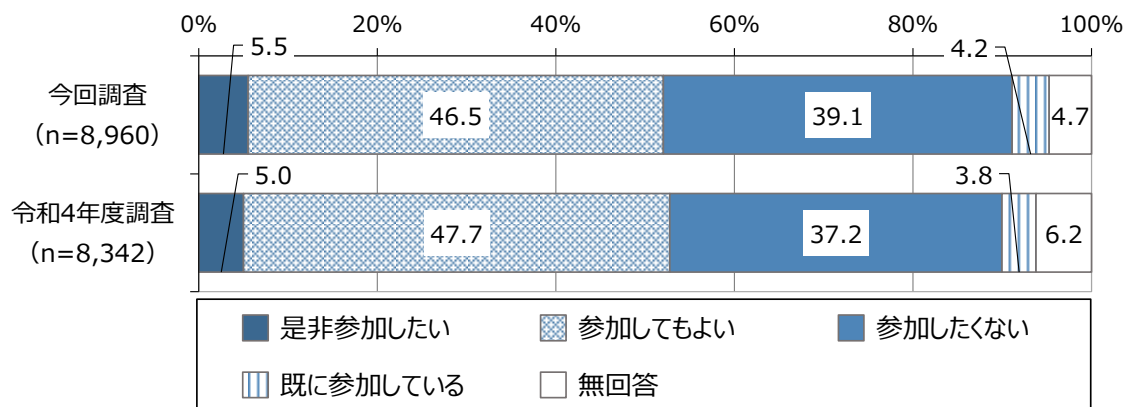
	一般高齢者・ 要支援認定者調査	在宅介護実態調査	介護事業者調査
調査地域	堺市全域		
調査対象	市内在住の介護保険の認定を受けていない 65 歳以上の方及び要支援 1、要支援 2 の認定を受けている 65 歳以上の方	市内在住の要支援 1～要介護 5 の認定を受けている在宅の 65 歳以上の方	堺市内をサービス提供区域とする事業所を営む法人
配布数	13,200 件	1,300 件	987 件
抽出方法	層化無作為抽出	無作為抽出	全数
調査方法	郵送による調査票の配布・回収（WEB 回答も可）		
調査期間	令和 7 年 12 月 19 日～令和 8 年 1 月 23 日		令和 8 年 1 月 9 日～ 令和 8 年 2 月 13 日
有効回収数	8,960 件	729 件	671 件
うち、インターネット による回答数	1,142 件 （有効回収数全体のうち 12.7%）	66 件 （有効回収数全体のうち 9.0%）	320 件 （有効回収数全体のうち 47.7%）
有効回収率	67.9%	56.1%	68.0%

3 調査結果（※調査報告書より一部抜粋）

(1) 一般高齢者・要支援認定者調査

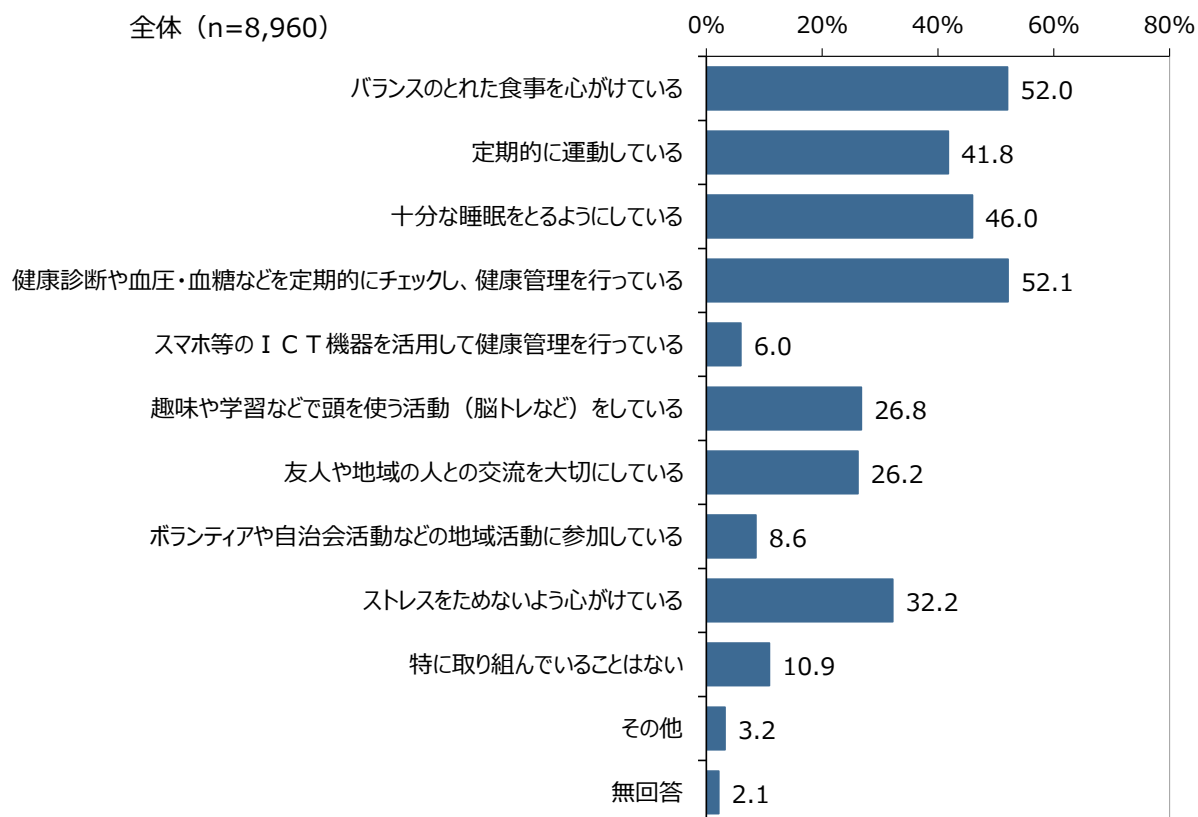
① 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○はひとつ）

地域住民のグループ活動に参加者として参加したいかについては、「参加してもよい」が46.5%で最も高く、次いで「参加したくない」が39.1%、「是非参加したい」が5.5%と続いています。令和4（2022）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



② 認知症予防や健康を保つために、何か取り組んでいることはありますか（○はいくつでも）

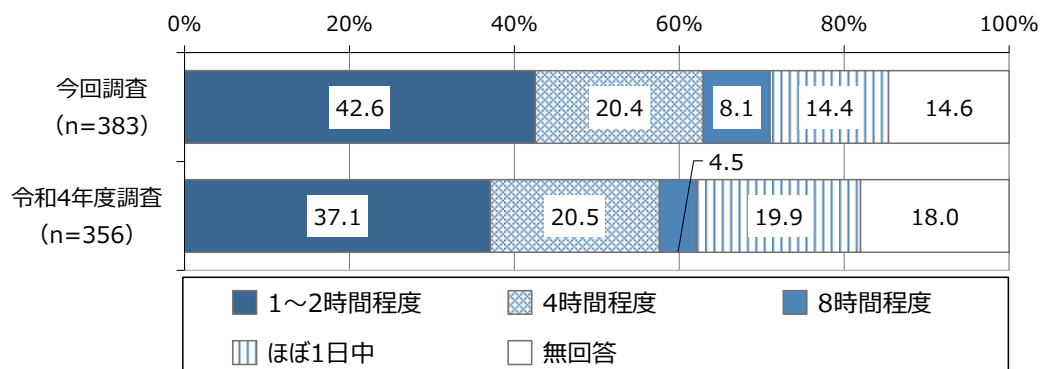
認知症予防や健康を保つために取り組んでいることについては、「健康診断や血圧・血糖などを定期的にチェックし、健康管理を行っている」が52.1%で最も高く、次いで「バランスのとれた食事を心がけている」が52.0%、「十分な睡眠をとるようにしている」が46.0%と続いているほか、「趣味や学習などで頭を使う活動（脳トレなど）をしている」が26.8%です。



(2) 在宅介護実態調査

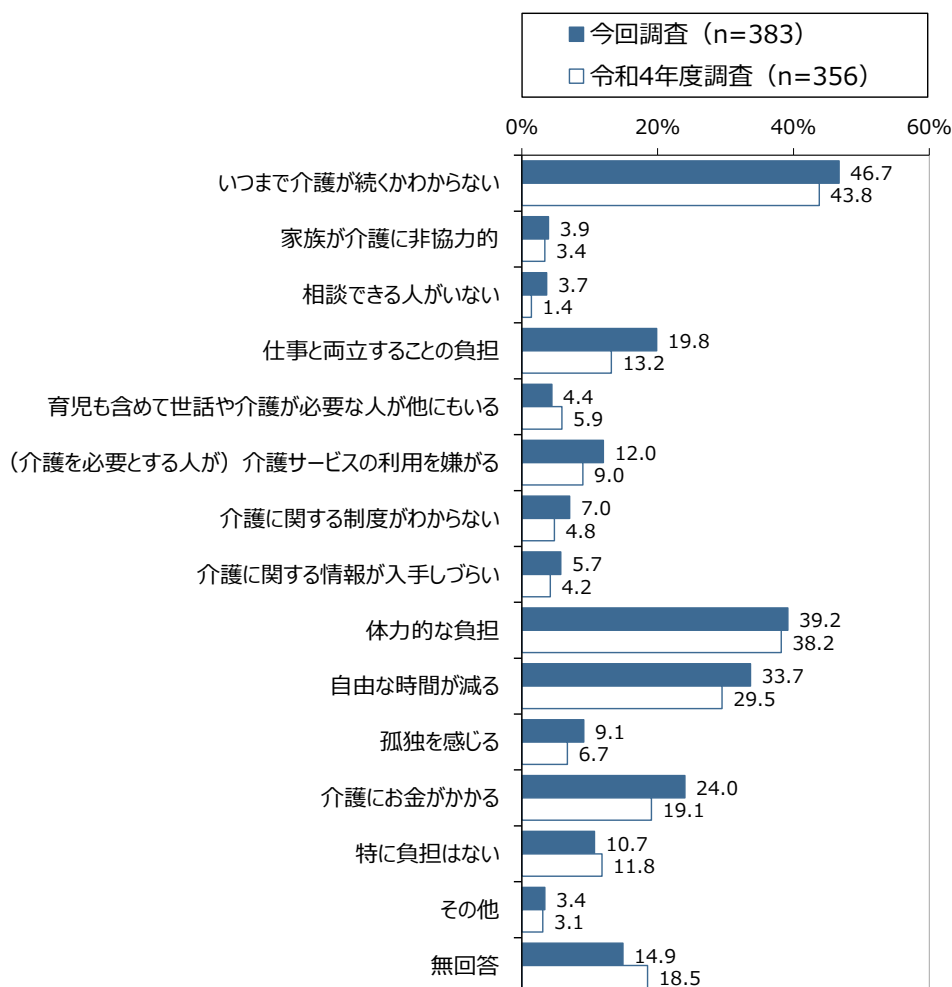
① 1日あたりの介護の時間について、教えてください（○はひとつ）＜回答者：主な介護者＞

1日あたりの介護の時間については、「1～2 時間程度」が 42.6%で最も高く、次いで「4 時間程度」が 20.4%、「ほぼ 1 日中」が 14.4%と続いています。令和 4（2022）年度調査と比較すると、「ほぼ 1 日中」（14.4%）では、令和 4（2022）年度調査（19.9%）より 5.5 ポイント減少しています。



② 介護に対して負担に感じることは何ですか（○はいくつでも）＜回答者：主な介護者＞

介護に対して負担に感じることにについては、「いつまで介護が続かわからない」が 46.7%で最も高く、次いで「体力的な負担」が 39.2%、「自由な時間が減る」が 33.7%と続いています。令和 4（2022）年度調査と比較すると、「仕事と両立することの負担」（19.8%）では、令和 4（2022）年度調査（13.2%）より 6.6 ポイント増加しています。



(3) 介護事業者調査

① ICT や介護ロボット等について、現在どのようなものを導入・利用していますか（○はいくつでも）

ICT や介護ロボット等の導入・利用状況については、「請求業務ソフト（介護報酬請求など）」が 74.8%で最も高く、次いで「介護記録ソフト（記録・情報共有機能）」が 59.3%、「タブレットやスマートフォンによる記録入力・閲覧」が 42.6%と続いています。「特に利用していない」は 12.8%です。

